

岡崎市多文化共生推進基礎調査 報告書【概要版】

1. 調査の概要

■調査の目的 地域特性を考慮して岡崎市の多文化共生推進に係る取り組みを計画的に展開していくために、多文化共生に関する市民意識と在住外国人の生活状況をアンケート調査により把握することを目的に実施した。

■調査対象者 (1) 外国人市民 2,000 人 ※韓国・朝鮮国籍を除く満18歳以上の外国人市民
(2) 日本人市民 1,000 人 ※満18歳以上の日本人市民

■調査期間 令和6年9月24日から10月18日まで

■回収状況

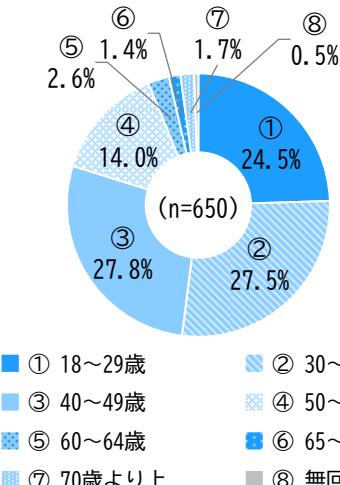
	外国人市民	日本人市民
標本数	2,000	1,000
有効回答数	650	514
有効回答率	32.5%	51.4%

2. 主な集計結果

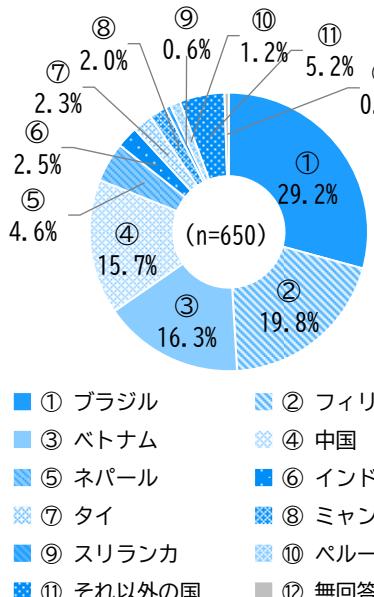
外国人市民 の調査結果

属性

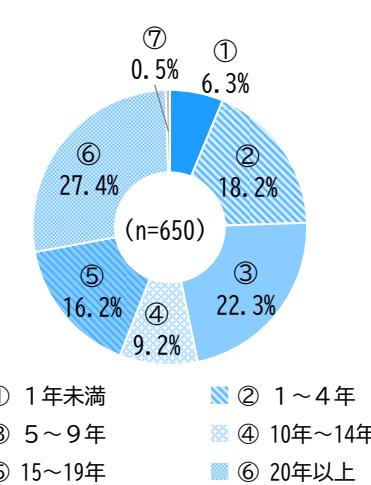
問2 年齢



問3 国籍

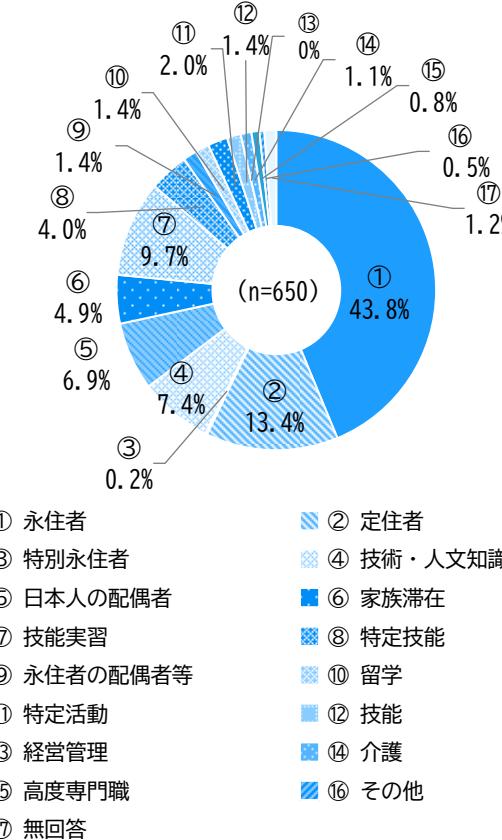


問5 在日年数



- 年齢は、「40~49歳」が最も多い、次いで「30~39歳」、「18~29歳」の順となっている。(問2)
- 国籍は、「ブラジル」が最も多い、次いで「フィリピン」、「ベトナム」、「中国」の順となっている。(問3)
- 在日年数は、「20年以上」が最も多い、次いで「5~9年」、「1~4年」の順となっている。また、半数以上が10年以上日本に住んでいる。(問5)

問4 在留資格

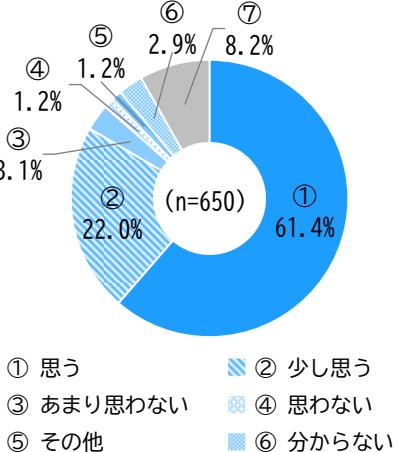


在留資格	割合 (%)
永住者	43.8
定住者	13.4
技能実習	9.7
技術・人文知識・国際業務	7.4
日本人の配偶者	6.9

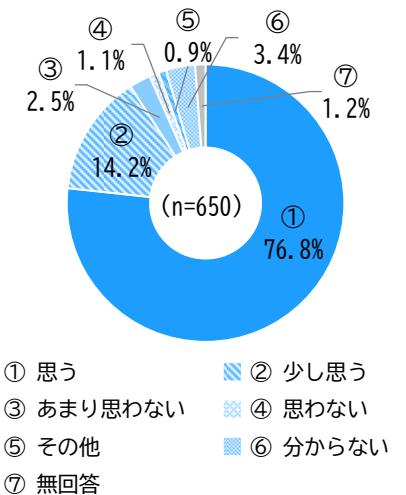
※上位5つ

問6 岡崎市は生活するのに良いまちだと思うか

(5年以上岡崎市に住んでいる人が回答)

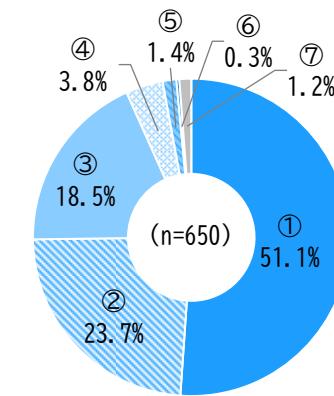


問7 岡崎市に住み続けたいと思うか



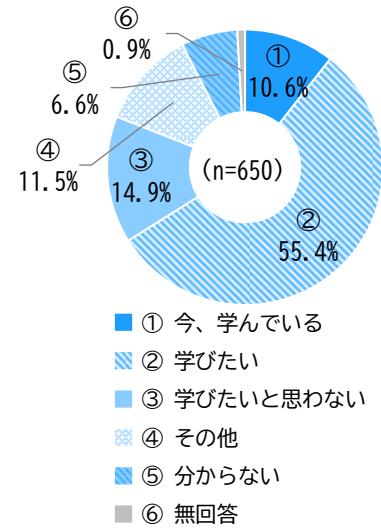
日本語について

問11 日本語の会話理解力



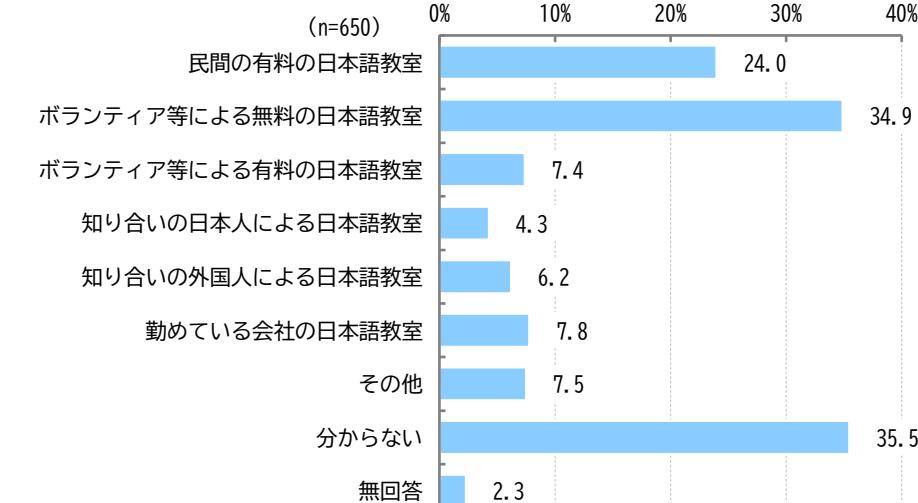
- 日本語の会話理解力としては、半数以上が「普通の生活で使う会話ができる」としている。全く聞き取れない人は少なく、ほとんどが何らかのレベルで日本語を理解していることがうかがえる。(問11)

問13 日本語教室での学習意欲



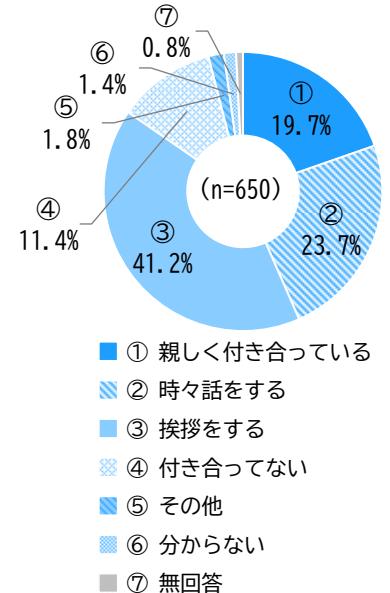
・半数以上が日本語教室で日本語を学びたいと回答している。一方、日本語教室の認知度として、およそ4割が「分からぬ」と回答している。(問13、問14)

問14 日本語教室の認知度



毎日の生活について

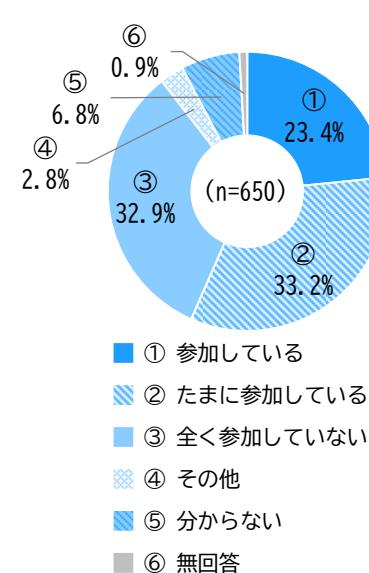
問19 日本人との関わり



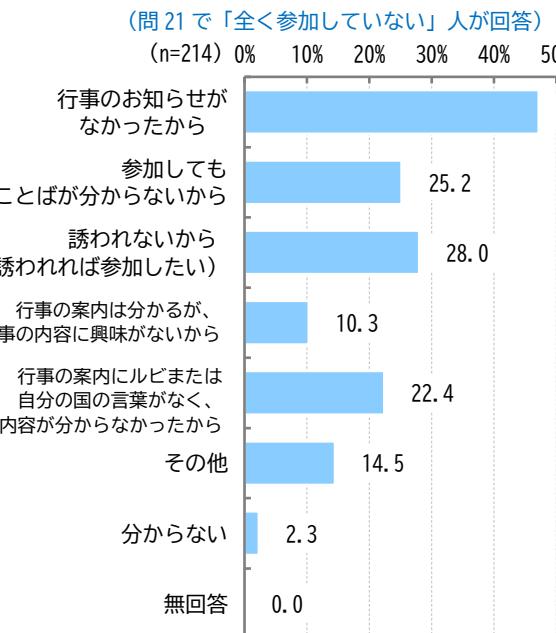
・近隣の日本人との付き合いについては、挨拶をする程度の関係が最も多い。(問19)

・半数以上が何らかの形で地域行事に参加している。参加していない理由としては、行事のお知らせがなかったという回答が最も多い。(問21、問22)

問21 地域の行事への参加

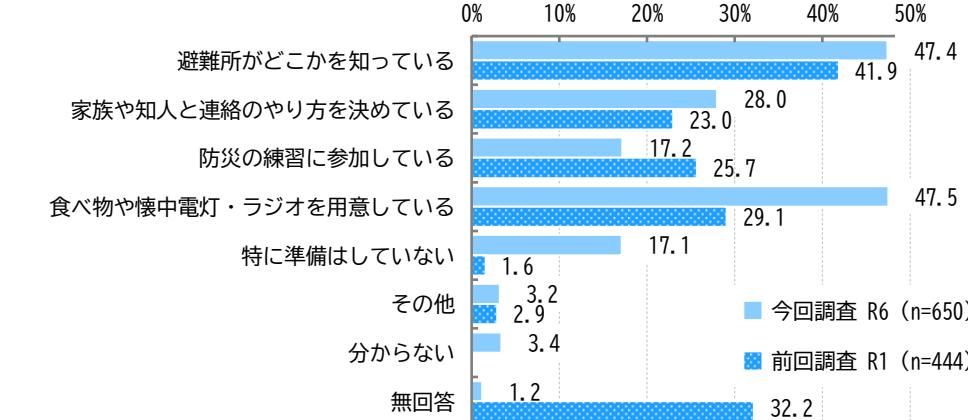


問22 参加していない理由



災害について

問27 災害に対する準備【経年比較】



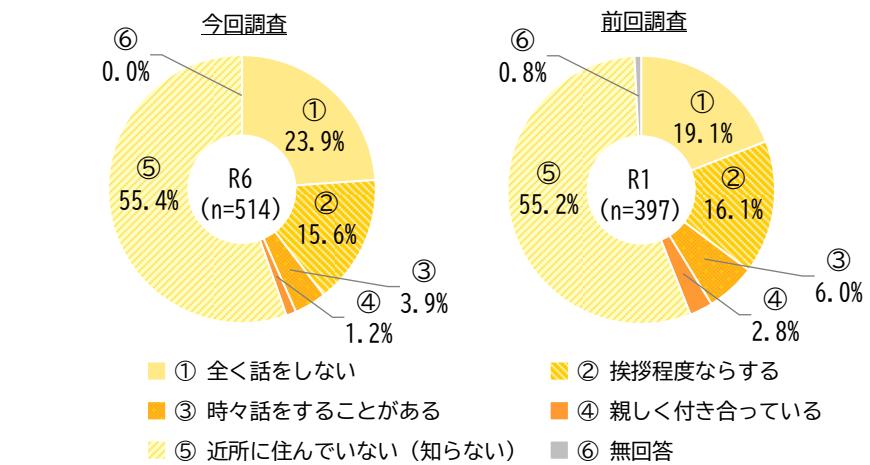
・災害に対する準備状況としては、前回調査と比較すると、避難所の確認や物資の準備などの個人でできる基本的な備えは進んでいる。(問27)
・一方、防災の練習への参加などの積極的な活動の参加は限定的であることがうかがえる。(問27)

※選択肢「分からぬ」はR6調査のみ

日本人市民の調査結果

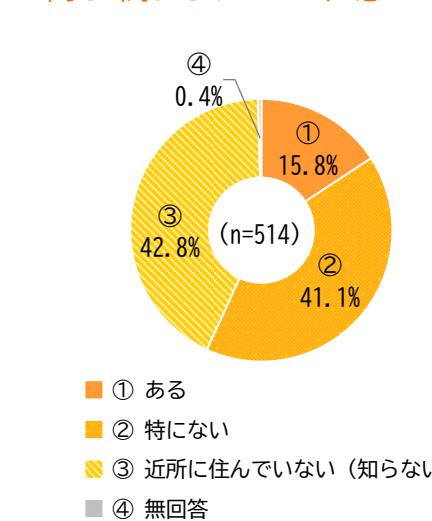
外国人市民との共生について

問4 外国人との関わり【経年比較】



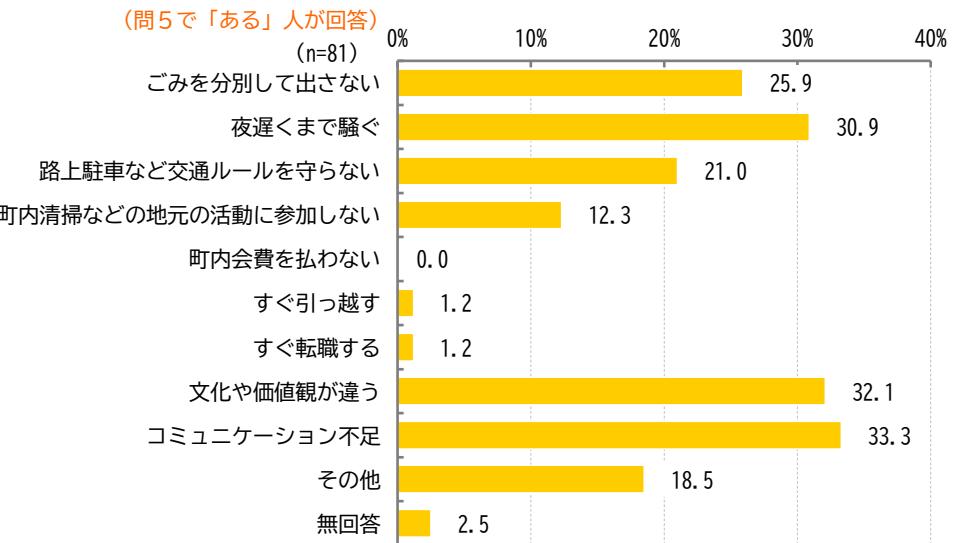
- ・近隣の外国人との付き合いについては、半数以上が近隣に外国人が住んでいないか、住んでいることを知らないと回答している。(問4)
- ・実際に外国人が近隣に住んでいる場合においても、親しく付き合っているという回答は非常に少ない。(問4)
- ・前回調査と比較すると、外国人市民との関わりが希薄化していることがうかがえる。(問4)

問5 関わるうえでの戸惑い

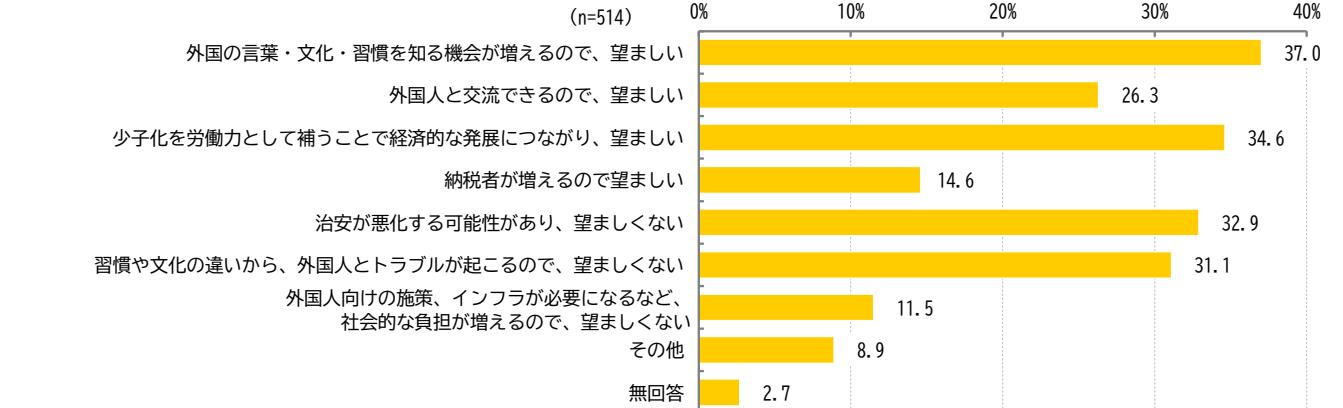


・地域や職場での外国人との関わりにおける戸惑いの有無については、外国人と関わりがあっても、問題を感じていないという回答が多い。戸惑いを感じている人の具体的な内容としては、コミュニケーション不足や、文化や価値観の違いをはじめ、地域社会との関わりに関する課題が多くみられた。(問5、問6)

問6 戸惑う内容



問8 岡崎市に外国人が増えることについて



・岡崎市に在住する外国人が増えることについて、望ましいとする回答としては、文化交流や経済的なメリットが多く、望ましくないとする回答としては、治安やトラブルに関する懸念が多い。(問8)